

(資料 1)

三重県病院事業 令和5年度 年度計画 (案)

令和 5 年 3 月

三重県病院事業庁

目次

第1章	年度計画策定の経緯等	1
第2章	各病院等の計画	
第1節	こころの医療センター	
1	令和5年度の取組方向	2
2	医療機能等の充実に向けた主要な取組および数値目標	2
3	経営の効率化等に向けた主要な取組および数値目標	6
4	財務計画	7
第2節	一志病院	
1	令和5年度の取組方向	8
2	医療機能等の充実に向けた主要な取組および数値目標	8
3	経営の効率化等に向けた主要な取組および数値目標	11
4	財務計画	13
第3節	志摩病院	
1	令和5年度の取組方向	14
2	診療機能の充実等に向けた取組および数値目標	14
3	財務計画	15
第4節	県立病院課	
1	令和5年度の取組方向	16
2	各県立病院に対する支援および数値目標	16
3	財務計画	18

第1章 年度計画策定の経緯等

病院事業庁では、県立病院に求められる役割・機能等を十分にふまえつつ、国および本県の医療政策の動向や県立病院を取り巻く環境の変化に的確に対応しながら、病院事業の経営を中期的な観点から計画的に推進し、それぞれの県立病院が県民の皆さんに医療サービスを安定的かつ継続的に提供していくため、「三重県病院事業 中期経営計画」を策定しています。

平成29年3月に策定した現行の中期経営計画は、平成27年3月に国が策定した「新公立病院改革ガイドライン」に基づき、公立病院が安定した経営のもとに必要な医療を提供していくために令和2年度までを計画期間として策定を求められた「新公立病院改革プラン」として位置づけ、計画に掲げた取組を推し進めてきました。

その後、計画期間が令和3年3月まで（平成29年度～令和2年度）であることから、令和2年度中に新たな中期経営計画を策定することとしていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中期的な見通しを立てることが困難なことや、計画策定の指針となる国のガイドラインの策定が先送りされたことから、令和3年度および令和4年度は現行計画の期間を延長したうえで、それぞれ単年度計画を策定して運用してきました。

そうした中、令和4年3月に国において「公立病院経営強化ガイドライン」が策定され、令和4～5年度の間「公立病院経営強化プラン」を策定することが求められました。また、策定にあたっては、地域医療構想や第8次医療計画（令和5年度までに改訂）との整合を図ることが求められています。しかし、地域医療構想に係る議論が進行中であるほか、第8次医療計画で具体化される新興感染症への対応等に係る国の方針については、令和5年2月に開催された検討会において、計画策定にあたっての基本的な考え方や数値目標の考え方の案が示され、今後、できる限り早く検討会の議論のまとめを行うとされています。

このため、令和5年度についても、現行計画をさらに1年延長したうえで単年度計画を策定することとしました。なお、公立病院経営強化プランとして位置づける次期中期経営計画については、地域医療構想の議論や第8次医療計画の改訂状況をふまえながら、令和5年度中に策定します。

第2章 各病院等の計画

第1節 こころの医療センター

1 令和5年度の取組方向

- ・本県における精神科医療の中核病院として、政策的医療のほか、認知症治療や依存症治療などの専門的医療の提供、訪問看護やデイケアサービス等の地域生活支援に取り組みます。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について、引き続き、精神疾患を有する感染患者等を受け入れるなど、必要な役割を果たします。

2 医療機能等の充実に向けた主要な取組および数値目標

(1) 精神科救急・急性期医療の提供

「三重県精神科救急医療システム」の支援病院として、休日・時間外等の救急患者の受入れに対応するとともに、保健所からの要請を受けて実施する措置診察について、診察結果に基づく措置入院などに対応するほか、診察の結果、入院に至らなかった方に対しても、保健所など関係機関と連携しながら患者やその家族の意向をふまえた適切な支援を行います。

また、患者ニーズや新興感染症への対応をふまえ、個室化等の病棟機能の見直しや多職種連携の充実を進め、入院患者の受入体制の強化と早期退院の促進を図ります。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
精神科救急患者受入件数（件）	230	120	180

(2) 専門的医療の提供

① 認知症治療

脳神経内科専門医とともに多職種が連携し、専門外来（もの忘れ外来）と専門病棟（認知症治療病棟）による切れ目のない効果的な治療を提供します。

また、他の医療機関や介護サービス事業所等の関係機関との連携を充実させて紹介患者の受入れを強化するなど、患者増に取り組むとともに、認知症疾患医療センターとして、家族等からの相談にきめ細かく対応するほか、普及啓発にも積極的に取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
認知症入院患者数（人／日）	40.0	27.1	40.0

② 依存症治療

アルコール依存症治療については、専門病棟を有する県内唯一の医療機関として効果的な入院治療やアルコールデイケアサービスを提供するとともに、家族等を対象とした研修会の開催や効果的なプログラム（CRAFT（※））、動機付け面接等により、本人や家族への支援に取り組みます。

ギャンブル依存症治療については、専門プログラムに基づく治療を提供します。

また、これらの依存症の治療拠点機関として、医療機関等を対象とした研修会の開催や普及啓発に取り組むとともに、地域の自助グループとの顔の見える連携を図ります。

（※）CRAFT：Community Reinforcement And Family Training の略。患者を取り巻くコミュニティ（環境）の強化や家族のコミュニケーションスキルを向上させるトレーニング等を通じて、患者が自ら治療を受け入れやすくなるような環境づくりを支援するプログラム

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
アルコール依存症入院患者数（人／日）	30.0	16.4	30.0

③ 精神科早期介入・早期予防

院内に設置した「ユース・メンタルサポートセンターMIE（YMSC-MIE）」において、若年層やその家族等からの相談に対応し、必要に応じて外来診療につなげるほか、相談者の意向をふまえた適切な支援を行います。

また、若年層への支援にあたっては、保健所や学校など関係機関と連携しながら取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
精神科早期介入対応件数（件）	200	200	200

（3）地域生活を支えるための支援

① デイケアサービス

多様で効果的なプログラムを用いたデイケアサービスを提供し、利用者の日常生活や就労面の支援を行うとともに、ニーズの高い若者へのプログラムの充実にも取り組みます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じてプログラム内容を切り替えるなど、感染防止策を講じたサービスを機動的に提供します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
デイケア・ショートケア延べ患者数（人）	12,500	10,500	12,500

② 訪問看護サービス

患者が地域で生活を継続していけるよう、感染防止策を十分講じたうえで、多職種が連携して訪問看護サービスを提供します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
訪問看護延べ患者数（人）	5,000	4,400	5,000

③ 入院患者の退院支援

入院患者が退院後も住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、保健所や市町、障害福祉サービス事業所等の関係機関と密接に連携しながら、症状や生活環境等に応じた適切な退院支援を行います。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
入院後1年以内の患者退院率（％）	95.0	96.3	95.0

④ 関係機関等との連携

さまざまな精神疾患を有する患者の医療ニーズに対応し、地域での安心した生活につなげていくため、感染防止策を十分講じたうえで、関係機関と共に研修会を開催するなど、連携した取組を積極的に行い、顔の見える関係づくりを推進します。

また、三重県ひきこもり地域支援センターにおける「三重県ひきこもり多職種連携チーム」の取組に参画します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
障害福祉サービス事業所等との連携取組件数（件）	9	9	9

⑤ 精神疾患・障がいにかかる普及啓発

精神障がい者が住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、感染防止策を十分講じたうえで、出前講座「こころしっとこセミナー」等を開催するなど、心理的作用（ストレス）や精神疾患等に対する正しい理解を得るための普及啓発に取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
こころしっとこセミナー開催件数（件）	35	35	35

(4) 人材育成の充実

① 研修医・看護実習生等の受入れ

本県における精神科医療の中核病院として県内の精神科医療水準の向上に寄与するため、院内の体制を充実させながら多くの研修医や看護実習生等を受け入れます。

また、精神科専門研修プログラムを活用して、精神科専門医の取得を希望する専攻医を積極的に受け入れます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
研修医・看護実習生等受入延べ人数（人）	2,200	1,900	2,200

② 職員の育成

精神保健指定医や認定看護師等の専門資格の取得を支援・促進するとともに、患者・家族を支援するためのプログラム（CRAFT等）の活用にあ資する研修や、チーム医療・多職種連携のための幅広い知識の習得や技術の向上にあ資する研修の機会を充実させます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
人材育成研修回数（回）	5	6	6

(5) 業務改善の推進

① 危機管理の徹底

医療事故等の未然防止や感染症の感染防止を徹底するとともに、災害発生時の円滑な対応に備えるため、医療安全や感染防止策等にかかる研修やBCP（事業継続計画）に基づく防災訓練等を実施するほか、サイバー攻撃に備えて、BCPの継続的な見直しや平時からのセキュリティ対策の強化に取り組めます。

また、県内外で大規模災害が発生した場合には、被災地等からの要請に基づき、三重DPAT（災害派遣精神医療チーム）を派遣し、被災地における精神科医療および精神保健活動を積極的に支援します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
危機管理研修等参加率（％）	94.0	99.0	95.0

② 患者満足度の向上

「声の箱」や「患者様アンケート」等を通じて、こころの医療センターに対する意見等を把握・分析して必要な取組を検討・推進し、医療サービスや職員の接遇面での対応力の向上を図ります。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
患者満足度（％）	94.3	86.9	94.3

3 経営の効率化等に向けた主要な取組および数値目標

(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組

効率的な病床管理や病病・病診連携などによる新規患者の受入れ増、プログラムの見直しによるデイケアサービスの利用向上などについて、院内に設置したプロジェクトにおいて検討しながら経営改善に取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
経常収支比率 (%)	101.6	113.6	99.4
医業収支比率 (%)	62.8	52.7	65.2
1日平均入院患者数 (人/日)	230.0	185.1	230.0
1日平均外来患者数 (人/日)	200.0	187.1	200.0

(2) 医師・看護師の確保

医師については、大学医局等への訪問や公募を通じて確保に努めるとともに、将来的な医師の確保に向け、精神科専門研修プログラムにより専攻医を積極的に受け入れます。

また、精神保健指定医の資格取得や研究・研修への支援など、医師のキャリア形成等の面から勤務医にとって魅力ある病院づくりに取り組むとともに、働き方改革への対応として、タスクシフト等により業務負担の軽減に取り組みます。

看護師については、大学・専門学校等の養成機関への訪問などを通じて病院のPRを進めることにより確保に努めます。

また、認定看護師の資格取得を促進するなどキャリア形成を支援するとともに、育児・介護のための休暇等が取得しやすい勤務環境を整えるなど、看護師にとって魅力のある病院づくりに取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
医師充足率 (%)	100.0	81.2	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

4 財務計画

(1) 収支計画 (収益的収支)

(単位：千円)

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
病院事業収益	3,329,187	3,751,718	3,351,352
医業収益 ①	1,982,947	1,675,441	2,114,799
入院収益	1,633,083	1,346,388	1,761,168
外来収益	320,079	298,468	330,528
その他医業収益	29,785	30,585	23,103
医業外収益 ②	1,346,240	2,076,277	1,236,553
うち一般会計繰入金	1,226,433	1,942,414	1,114,835
特別利益 ③	-	-	-
病院事業費用	3,277,063	3,303,340	3,370,935
医業費用 ④	3,158,671	3,177,086	3,242,518
給与費	2,159,174	2,095,160	2,106,592
材料費	195,144	186,753	208,719
経費	587,079	679,105	706,468
減価償却費	204,025	201,838	208,318
資産減耗費	4,884	4,998	2,462
研究研修費	8,365	9,232	9,959
医業外費用 ⑤	118,392	126,254	128,417
特別損失 ⑥	-	-	-
医業損益 (①-④)	△1,175,724	△1,501,645	△1,127,719
経常損益 (①+②) - (④+⑤)	52,124	448,378	△19,583
純損益 (①+②+③) - (④+⑤+⑥)	52,124	448,378	△19,583

(単位：%)

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
経常収支比率 (①+②) / (④+⑤)	101.6	113.6	99.4
医業収支比率 (①/④)	62.8	52.7	65.2

(2) 収支計画 (資本的収支)

(単位：千円)

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
資本的収入 ①	373,261	352,361	399,602
企業債	121,800	100,900	151,000
国庫補助金	-	-	-
県費負担金	251,461	251,461	248,602
短期貸付金返還金	-	-	-
資本的支出 ②	527,919	510,552	553,176
建設改良費	121,960	104,593	152,670
病院増改築工事費	55,179	54,101	88,170
資産購入費	66,781	50,492	64,500
企業債償還金	405,959	405,959	400,506
長期借入金償還金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-
資本的収支 (①-②)	△154,658	△158,191	△153,574

※四捨五入処理のため、合計が合わない場合があります。

※(1)は消費税および地方消費税を含んでいません。

※(2)は消費税および地方消費税を含んでいます。

※R4計画は、令和4年度計画策定時点のものです。

第2節 一志病院

1 令和5年度の取組方向

- ・総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践や研究、プライマリ・ケアを担う人材の育成等に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた医療・介護・予防等の多職種連携に取り組めます。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について、関係機関と連携しながら感染患者の受け入れ、発熱外来や検査の実施、ワクチン接種、医療人材の派遣など、必要な役割を果たします。

2 医療機能等の充実に向けた主要な取組および数値目標

(1) 地域医療の推進

① 在宅療養支援

高齢化が進展し、在宅療養支援のニーズが高まる中、通院が困難な患者に対して訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援を行うなど、きめ細かな医療サービスを提供します。

また、入院患者が退院後にスムーズに在宅生活を開始できるよう、介護事業者等と在院中から連携を図ることなどにより、医療と介護の切れ目のない在宅療養支援を行います。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
訪問診療、訪問看護等延べ患者数（人）	4,800	4,800	4,800

② 予防医療

地域住民の健康寿命の延伸を図るため、健康教室や糖尿病教室、出前講座等に感染防止策を講じながら取り組むとともに、住民健診、人間ドック、がん検診等の予防医療を提供します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
住民健診、人間ドック、がん検診受検者数（人）	1,400	970	1,200

③ 救急医療

消防機関や診療所等と密接に連携しながら、総合診療医を中心とした24時間365日の救急患者受入体制を維持し、地域の救急医療体制の確保に貢献します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
救急患者受入件数（件）	900	700	800

④ 医療過疎地域への支援

持続可能な地域医療提供体制を確保するため、県から指定を受けた「へき地医療拠点病院」として、県内のへき地診療所に代診医を派遣するとともに、津市美杉地域に津市が設置している診療所に医師を派遣するなど、医療過疎地域における医療の提供を支援します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
医療過疎地域等への支援件数（件）	5	3	5

⑤ 関係機関等との連携

「美杉・白山・一志保健医療福祉連携会議」等の情報共有会議の開催や健康啓発事業への講師派遣、リーフレットへの寄稿、院内に設置した「もの忘れ相談室」における患者やその家族への支援などの取組を通じて多職種連携の体制を強化し、津市における地域包括ケアシステムの構築を支援します。

また、令和4年10月に開所した病児・病後児保育室「みどり」を適切に運用するとともに、津市と連携して地域住民等への周知・利用促進を図ります。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
多職種連携による取組件数（件）	15	14	15

(2) 人材育成の充実

① 総合診療医の育成

「三重県医療計画」に基づき、三重大学を中心に取り組んでいる総合診療医の育成に対応する拠点病院として研修医や医学生を積極的に受け入れ、同大学と密接に連携しながら実践的な研修を実施するなど、県内において総合診療医を育成するための中心的な役割を担います。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
研修医・医学生受入延べ人数（人）	500	390	500

② 看護実習生等の受入れ

看護や介護の実習生を積極的に受け入れ、大学や関係機関と密接に連携しながら実践的な研修を行うことにより、地域に貢献できる人材を育成します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
看護実習生等受入延べ人数（人）	330	380	350

③ 医療従事者の能力向上への支援

院内の医療従事者の学会やカンファレンスへの積極的な参加を支援するとともに、院内外の医療従事者が一志病院の参画する多職種連携の取組等において知識・経験を深めていけるよう、オンラインも活用しながら参加への支援等を進めます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
学会、研修、カンファレンス等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0

(3) 地域医療提供体制の確保に資する研究活動の推進

三重大学等との連携により、プライマリ・ケアや医療人材の育成等に関する研究を推進し、これらのエビデンスの創出・発信を通じて、県内の地域医療提供体制の確保に寄与します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
学会、論文等発表件数 (件)	30	12	20

(4) プライマリ・ケアセンターへの支援

プライマリ・ケアエキスパートナースなど、各地域でプライマリ・ケアを実践できる人材を育成するために県が一志病院内に設置している「三重県プライマリ・ケアセンター」の機能が十分に発揮されるよう、研修会の開催など人材育成の面から積極的に支援します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
プライマリ・ケア研修会開催件数 (件)	3	3	3

(5) 業務改善の推進

① 業務改善活動

病院のビジョンの実現に向けて院内に設置した「夢プロジェクト」における職員の活動を通じて、プライマリ・ケアの実践や人材育成、経営の健全化など、一志病院のさまざまな取組をさらに充実・改善します。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
夢プロジェクト開催回数 (回)	12	12	12

② 危機管理の徹底

感染症対策に継続的に取り組むとともに、医療事故の防止や行動制限等の医療倫理にかかる研修、大規模地震等の自然災害を想定した防災訓練等を定期的に開催し、感染症への円滑な対応、医療事故等の未然防止や災害発生に備えます。

また、サイバー攻撃に備えて、BCP（事業継続計画）の継続的な見直しや平時からのセキュリティ対策の強化に取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
危機管理研修等参加率（％）	100.0	100.0	100.0

③ 患者満足度の向上

「患者様ご意見箱」や「患者様アンケート」等を通じて、一志病院に対する意見等を把握・分析して必要な取組を検討・推進し、医療サービスや職員の接遇面での対応力の向上を図ります。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
患者満足度（％）	96.6	96.8	96.6

3 経営の効率化等に向けた主要な取組および数値目標

（1）経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保に向けた取組

予防医療を含めた良質な医療サービスの提供を通じて、入院・外来患者数や健康診断等の受診者数の増および診療単価の向上等による収益の増加を図るとともに、材料費や経費など費用の縮減に努めることにより、経常収支比率および医業収支比率の向上を図ります。

また、提供する医療サービスが収益に確実に反映できるよう、診療報酬上の新たな施設基準の取得や診療報酬の減点对策等に病院全体で取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
経常収支比率（％）	106.3	109.8	107.8
医業収支比率（％）	70.0	67.4	66.7
診療報酬検討会開催回数（回）	12	12	12
1日平均入院患者数（人/日）	36.0	33.2	36.0
1日平均外来患者数（人/日）	72.0	66.7	68.0

(2) 医師・看護師の確保

医師については、三重大学等への訪問や公募を通じて確保に努めるとともに、総合診療科および総合内科の専門医研修プログラムの連携施設として、専攻医を積極的に受け入れます。

また、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの取組や研究・研修環境の充実などにより病院の魅力をPRするとともに、働き方改革への対応として、タスクシフト等による業務負担の軽減に取り組みます。

看護師については、キャリア形成を支援するとともに、育児・介護のための休暇等が取得しやすい勤務環境を整えるなど、看護師にとって魅力のある病院づくりに取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
医師充足率 (%)	100.0	96.8	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

4 財務計画

(1) 収支計画（収益的収支）

（単位：千円）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
病院事業収益	1,014,954	1,072,402	1,084,322
医業収益 ①	653,805	642,149	656,241
入院収益	367,920	364,603	374,461
外来収益	164,723	171,190	165,914
その他医業収益	121,162	106,356	115,866
医業外収益 ②	361,149	430,253	428,081
うち一般会計繰入金	325,763	385,535	384,913
特別利益 ③	-	-	-
病院事業費用	954,578	976,625	1,005,719
医業費用 ④	934,437	952,822	983,553
給与費	574,784	560,167	605,328
材料費	61,530	73,210	61,532
経費	227,378	250,036	222,514
減価償却費	65,651	63,590	90,429
資産減耗費	2,220	2,945	790
研究研修費	2,874	2,874	2,960
医業外費用 ⑤	20,141	23,803	22,166
特別損失 ⑥	-	-	-
医業損益 (①-④)	△280,632	△310,673	△327,312
経常損益 (①+②) - (④+⑤)	60,376	95,777	78,603
純損益 (①+②+③) - (④+⑤+⑥)	60,376	95,777	78,603

（単位：％）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
経常収支比率 (①+②) / (④+⑤)	106.3	109.8	107.8
医業収支比率 (① / ④)	70.0	67.4	66.7

(2) 収支計画（資本的収支）

（単位：千円）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
資本的収入 ①	205,183	202,815	119,325
企業債	177,200	174,300	97,400
国庫補助金	-	-	-
県費負担金	23,983	24,515	21,925
短期貸付金返還金	-	-	-
その他	4,000	4,000	-
資本的支出 ②	233,568	231,643	143,026
建設改良費	185,966	184,041	99,549
病院増改築工事費	50,475	27,679	66,532
資産購入費	135,491	156,362	33,017
企業債償還金	47,602	47,602	43,477
長期借入金償還金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-
資本的収支 (①-②)	△28,385	△28,828	△23,701

※四捨五入処理のため、合計が合わない場合があります。

※(1) は消費税および地方消費税を含んでいません。

※(2) は消費税および地方消費税を含んでいます。

※R4 計画は、令和4年度計画策定時点のものです。

第3節 志摩病院

1 令和5年度の取組方向

- ・志摩地域の中核病院としての役割を果たせるよう、病院事業庁と指定管理者が密接に連携し、地域の医療ニーズをふまえながら診療機能の充実に取り組めます。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応について、引き続き関係機関と連携しながら、患者の受入れ、検査の実施やワクチン接種など、必要な役割を果たします。

2 診療機能の充実等に向けた取組および数値目標

(1) 経常収支比率の向上および診療機能の充実

地域の医療ニーズをふまえ、内科系救急患者の24時間365日の受入れ、回復期機能を有する地域包括ケア病棟の運用等を継続するとともに、診療機能の充実に向けて、病院事業庁と指定管理者が連携して、医師確保のほか、地域の医療機関や福祉施設等との連携強化に取り組めます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
経常収支比率 (%)	101.9	112.4	97.7
1日平均入院患者数 (人/日)	187.0	167.3	187.0
1日平均外来患者数 (人/日)	291.0	262.7	265.0
1か月平均救急患者数 (人/月)	401.5	334.5	402.6
患者満足度 (%)	95.0	92.4	95.0

※指定管理者の病院運営にかかる数値目標です。

(2) 指定管理者に対する指導・監督等

診療体制のさらなる充実および経営改善が着実に図られるよう、病院事業庁と指定管理者の代表者等で構成する「志摩病院管理運営協議会」において取組方針等の確認や課題の調整などを行うとともに、指定管理者から毎月提出される業務報告の聴き取り等により運営状況を常に把握しながら、適切な連携および指導・監督を行います。

3 財務計画

(1) 収支計画（収益的収支）

（単位：千円）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
病院事業収益	912,180	904,558	924,844
医業収益 ①	9,307	7,039	9,055
入院収益	-	-	-
外来収益	-	-	-
その他医業収益	9,307	7,039	9,055
医業外収益 ②	902,873	897,519	915,789
うち一般会計繰入金	621,063	610,989	628,043
特別利益 ③	-	-	-
病院事業費用	969,561	959,865	989,062
医業費用 ④	909,621	899,922	927,390
給与費	-	-	-
材料費	-	-	-
経費	613,163	603,241	622,162
減価償却費	291,871	290,765	300,731
資産減耗費	4,587	5,916	4,497
研究研修費	-	-	-
医業外費用 ⑤	59,940	59,943	61,672
特別損失 ⑥	-	-	-
医業損益 (①-④)	△900,314	△892,883	△918,335
経常損益 (①+②) - (④+⑤)	△57,381	△55,307	△64,218
純損益 (①+②+③) - (④+⑤+⑥)	△57,381	△55,307	△64,218

（単位：％）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
経常収支比率 (①+②) / (④+⑤)	94.1	94.2	93.5

(2) 収支計画（資本的収支）

（単位：千円）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
資本的収入 ①	959,145	557,093	727,697
企業債	424,800	423,100	194,600
国庫補助金	-	-	-
県費負担金	134,345	133,993	133,097
短期貸付金返還金	400,000	-	400,000
資本的支出 ②	1,093,488	691,075	860,788
建設改良費	427,954	425,541	198,144
病院増改築工事費	328,741	325,846	101,129
資産購入費	99,213	99,695	97,015
企業債償還金	265,534	265,534	262,644
長期借入金償還金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-
短期貸付金	400,000	-	400,000
資本的収支 (①-②)	△134,343	△133,982	△133,091

※県の病院事業会計における財務計画です。

※四捨五入処理のため、合計が合わない場合があります。

※(1)は消費税および地方消費税を含んでいません。

※(2)は消費税および地方消費税を含んでいます。

※R4計画は、令和4年度計画策定時点のものです。

第4節 県立病院課

1 令和5年度の取組方向

- ・ 医師、看護師等の医療従事者の確保に努めるとともに、医療情報等の収集・提供を積極的に行いながら、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えた病院毎の課題等に対して共に取り組み、病院の経営改善を支援します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症への対応について、それぞれの病院が診療機能を維持しながら必要な役割を果たせるよう、県対策本部と連携・協力して取り組みます。
- ・ 地域医療構想や第8次医療計画との整合を図りながら、次期中期経営計画（公立病院経営強化プラン）を策定します。

2 各県立病院に対する支援および数値目標

(1) 経常収支等の向上に向けた支援

国・県の医療政策の動向や新型コロナウイルス感染症に関する情報等を積極的に収集・提供するなどして、それぞれの病院運営を支援します。

また、各病院における医療安全や未収金等にかかる対策について、病院と共に積極的に取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
経常収支比率 (%)	102.6	112.4	101.3
医業収支比率 (%)	62.9	54.8	64.1

※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値

(2) 医師・看護師の確保

医師については、三重大学等への継続的な派遣要請やさまざまな媒体を活用した公募等を通じて確保に努めます。

看護師については、県内の看護師養成機関への積極的なPRや修学資金貸付制度の周知を行うなどして確保に取り組みます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
医師充足率 (%)	100.0	82.0	100.0
看護師充足率 (%)	100.0	100.0	100.0

※こころの医療センター、一志病院を合計した値

(3) 職員の専門性の向上

医療従事者が専門的な知識や技術を継続的に習得・向上し、良質な医療を提供していけるよう、各種研修への参加や資格取得について支援します。

また、引き続き、新型コロナウイルス感染症や新興感染症に備えるため、感染防止策に従事する職員の人材育成に取り組みます。

(4) 患者満足度の向上

患者満足度の向上に関する取組事例を各病院に情報提供し、接遇面での対応力向上などを支援します。

また、過疎・高齢化が進むへき地における患者の通院負担軽減や利便性向上のため、デジタル技術を活用したオンライン診療について、先行事例等の情報を収集するなど検討を進めます。

目標項目	R4 目標	R4 見込	R5 目標
患者満足度 (%)	95.0	90.9	95.0

※こころの医療センター、一志病院を合計した値

(5) 職員満足度の向上

職員が生活と仕事のバランスを取れるよう、各職場においてライフを含めた対話を進めるとともに、子育て支援等のための各種制度の利用を促進するなど、ライフ・ワーク・マネジメントによる働きやすい職場環境づくりに取り組みます。

また、定年延長の実施に向け、ベテラン人材を効果的に活用して若手職員の育成や子育て・介護等の生活面での支援が必要な職員へのサポートを行う体制づくりについて検討します。

(6) 危機管理の徹底

医療事故や不適正な事務処理の防止、大規模災害等の自然災害、感染症の拡大などの不測の事態に対応するため、各病院における職員の危機管理意識や危機対応能力の向上を図る取組を支援します。

また、近年全国的に多発しているサイバー攻撃について、情報収集に努めながら、各病院におけるBCP（事業継続計画）の継続的な見直しや適切なデータ管理の取組を支援します。

(7) 次期中期経営計画の策定

令和4年3月に国において策定された「公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、「公立病院経営強化プラン」に位置づける「三重県病院事業次期中期経営計画」（計画期間：令和6～9年度）を策定します。

策定にあたっては、地域医療構想や第8次医療計画（令和5年度までに改訂）との整合を図りつつ、病院間の機能分化・連携強化、医師・看護師等の確保と働き方改革、新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組等について検討します。

3 財務計画

(1) 収支計画（収益的収支）

（単位：千円）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
病院事業収益	96,709	97,573	95,981
医業収益 ①	-	-	-
入院収益	-	-	-
外来収益	-	-	-
その他医業収益	-	-	-
医業外収益 ②	96,709	97,573	95,981
うち一般会計繰入金	95,393	96,563	94,941
特別利益 ③	-	-	-
病院事業費用	96,709	97,573	95,981
医業費用 ④	95,926	97,125	95,159
給与費	86,311	87,721	84,977
材料費	-	-	-
経費	6,552	7,288	7,073
減価償却費	1,786	1,786	1,832
資産減耗費	-	-	-
研究研修費	1,277	330	1,277
医業外費用 ⑤	783	448	822
特別損失 ⑥	-	-	-
医業損益（①-④）	△95,926	△97,125	△95,159
経常損益（①+②）-（④+⑤）	-	-	-
純損益（①+②+③）-（④+⑤+⑥）	-	-	-

(2) 収支計画（資本的収支）

（単位：千円）

	R4 計画	R4 見込	R5 計画
資本的収入 ①	463	663	463
企業債	-	200	-
県費負担金	463	463	463
短期貸付金返還金	-	-	-
資本的支出 ②	288,925	286,745	93,925
建設改良費	-	220	-
病院増改築工事費	-	-	-
資産購入費	-	220	-
企業債償還金	925	925	925
長期借入金償還金	285,000	285,000	90,000
長期貸付金	3,000	600	3,000
短期貸付金	-	-	-
資本的収支（①-②）	△288,462	△286,082	△93,462

※四捨五入処理のため、合計が合わない場合があります。

※（1）は消費税および地方消費税を含んでいません。

※（2）は消費税および地方消費税を含んでいます。

※R4 計画は、令和4年度計画策定時点のものです。